

第18期 第7回常任理事会議事録

日時 昭和50年3月3日(月) 14.00~17.30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 磯野, 小平, 朝倉, 大井, 奥田, 神山, 河村,
高橋, 北川, 野本, 丸山, 各常任理事
川村理事

報告

[庶務]

1. 2月10日, 文部省初等中等教育局長から学術用語「気象学論」の出版権設定契約書がきた。
2. 2月22日, 地球化学研究協会理事長から学術賞「地球化学協会三宅賞」候補者推薦依頼がきた。
3. 2月26日, 学会賞藤原賞受賞者に授賞決定の通知をした。
4. 気象百年史の申込みは, 百年史2,629冊, 資料編

2,228冊である。

[講演企画]

春季大会の講演申込みは192題になった。

[用語]

気象学用語集は今年の夏頃に発行される予定である。用語は時代と共に変わっていくものであるから, 天気の話上討論等を通じて改善をはかり, 5年後には改訂版を出したい。また, 用語小字典の作成も考えている。

[長期計画]

国立, 公立大学に出した大学における気象教育の実態を把握するためのアンケートの回答が相当数きているので分析する。

承認事項加藤伊都男ほか11名の入会を承認

日本気象学会中部支部の発足について

かねてから設立準備中であった中部支部は, 昭和50年4月1日より発足した。役員は下記のとおりである。

記

支部長 矢崎 敬三(名古屋地方気象台)
理事(常任) 石川 晴治(名古屋大学)
" 樋口 敬二(")
" 瀬下 慶長(名古屋地方気象台)

平沢 健造(金沢地方気象台)
草野 和夫(長野地方気象台)
武田 喬(名古屋大学)
会計監査 藤沢 育(名古屋地方気象台)
幹事 武田 喬(名古屋大学)(理事兼)
金丸 広(名古屋地方気象台)